

記者配布資料  
平成10年10月5日  
環境保全局環境監視センター  
担当課長 宇田川 671-3445

大気中のダイオキシン調査結果について  
— 8月分調査結果（夏季調査） —

1 調査の趣旨

本市では，市域の大気環境中のダイオキシン濃度を把握するため，平成9年10月，12月，今年の5月，及び8月（3～5日）に調査を実施しました。このたび，8月の測定結果を取りまとめましたのでお知らせします。また，参考までに四季を考慮した年間平均値も算出しております。

2 調査の方法

調査は，市内9地点で四季を通じ，それぞれ24時間サンプリングを2回連続して行い，各地点2検体で年間合計72検体を採取し分析を行いました。また，これらの測定点は，いずれも大気汚染物質濃度を常時測定している本市の一般環境大気測定局で，臨海部，都心部，郊外部等の地域性を考慮し選定したものです。なお，8月の分析は，本市環境科学研究所で行ったものです。

3 測定結果（単位：pg-TEQ/ m<sup>3</sup>）

測定地点	秋① 9年 10月	秋② 9年 10月	冬① 9年 12月	冬② 9年 12月	春① 10年 5月	春② 10年 5月	夏① 10年 8月	夏② 10年 8月	年間平均値
1 鶴見区生麦小学校	2.7	0.92	0.48	1.2	0.17	0.28	1.0	0.68	0.93
2 西区平沼小学校	4.9	0.97	0.95	1.0	0.23	0.25	0.47	0.55	1.2
3 中区本牧	0.87	0.80	0.47	1.4	0.20	0.23	0.51	0.47	0.62
4 旭区鶴ヶ峯小学校	1.2	1.1	0.58	0.98	0.33	0.25	0.32	1.1	0.73
5 港北区総合庁舎	1.1	0.87	0.77	1.2	0.21	0.19	0.36	0.28	0.62
6 青葉区総合庁舎	1.3	1.2	0.88	1.0	0.37	0.29	0.19	0.17	0.68
7 戸塚区汲沢小学校	1.1	1.3	0.71	0.96	0.20	0.27	0.23	0.32	0.64
8 栄区尖山小学校	0.93	1.0	0.45	1.0	0.34	0.20	0.15	0.16	0.53
9 瀬谷区南瀬谷小学校	1.1	1.3	0.49	0.85	0.35	0.24	0.48	0.30	0.64
市内9地点の平均	1.7	1.1	0.63	1.1	0.27	0.24	0.41	0.45	0.73

単位 pg：ピコグラム。1ピコグラムは，1兆分の1グラム。

TEQ = 「毒性等量」。ダイキシン類の量を，ダイキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-p-ダイオキシンに換算した量として表していることを示す符号。

#### 4 考察

- (1) 8月(夏季調査)の測定結果は、1回目(3~4日)が、 $0.15\sim 1.0\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ 、2回目(4~5日)が、 $0.16\sim 1.1\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ でした。
- (2) 各地点の年間平均値は、 $0.53\sim 1.2\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ の範囲にあり、市内9地点の平均は、 $0.73\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ でした。
- (3) 年平均値として設定された環境庁の指針値(年平均値 $0.8\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ 以下)と比較しますと、市内9地点の内7地点で適合していました。
- (4) 各地点の年間平均値は、環境庁の調査による全国的な測定結果と比較して見ますと、大都市地域並みの値となっています。

参考1 環境庁によるダイオキシン調査結果による大都市地域の夏と冬の測定値

	最小	最大	(単位: $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ )
平成2年度	0.00	~ 4.7	
平成4年度	0.00	~ 2.6	
平成6年度	0.00	~ 3.0	
平成8年度	0.04	~ 2.69	(季節別等の結果は、参考2)
平成9年度	0.01	~ 0.61	(季節別等の結果は、参考2)

参考2 上記環境庁調査のうち季節別等の測定結果(大都市地域)

[平成8年度]

	(単位: $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ )
冬の測定の平均値	1.57 (地点毎では、 $0.48\sim 2.63$ )
夏の測定の平均値	0.46 (地点毎では、 $0.12\sim 0.89$ )
夏冬あわせた平均値	1.02 (地点毎では、 $0.30\sim 1.65$ )

[平成9年度]

	(単位: $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ )
冬の測定の平均値	0.31 (地点毎では、 $0.01\sim 0.54$ )
夏の測定の平均値	0.32 (地点毎では、 $0.01\sim 0.61$ )
夏冬あわせた平均値	0.32 (地点毎では、 $0.01\sim 0.50$ )

環境庁の指針値(年平均値 $0.8\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ 以下)

この指針値は、一生涯という長期わたる暴露を想定し、大気環境濃度の年平均値として示されたものであり、大気環境濃度がこの指針値を上回る場合であっても、直ちに人の健康に影響を及ぼすとはいえないとされている。